

芝山町におけるコホート調査

(分担研究：コホート調査実施の基礎的検討)

有阪 治、織茂良子

要約：小児期における成人病の危険因子と成人病発生との関係を研究する目的で、本年度は芝山町におけるコホート調査のシステムづくりを行なった。実施に際して、地区教育委員会の承諾をまず得て、学校関係者とくに養護教諭の協力をとりつけた。本調査は、3歳児および小学1年生を開始コホートとして、9年間以上の追跡を目標とする。次年度より計画に基づく調査が開始されるが、プレ調査として町内3小学校の小学生に対して、生活習慣、家族歴、食品摂取状況に関するアンケート調査も実施し629名(回収率99%)の回答を得た。これらの児童も今後、調査計画に基づき追跡する。

見出し語：コホート、成人病、3歳児検診、児童、アンケート調査、教育委員会、養護教諭

【はじめに】

本研究の目的は、幼児および児童生徒期における成人病の危険因子と成人病の発生との関係を科学的に解明することを意図するものである。その目的のために、9年以上の追跡を目標とするコホート調査のシステムづくりを行なった。血液検査等の調査開始は次年度からであるが、プレ調査等は本年度すでに実施された。まず、計画された本調査研究方法を示し、さらに本年度の進捗状況を報告する。

【研究方法】

3歳児および小学1年(6歳)から中学3年生までの9年間以上のコホート追跡を目標とする計画である。

①調査地域・対象コホート

千葉県芝山町(平成3年6月現在、総人口8638名。世帯数2365。町内の3歳児は約90名。町内3小学校の総児童数631名。町内1中学校の生徒数250名)に居住する幼児、児童。

平成4年度に3歳児検診を受ける幼児全員および同年度に就学する児童(6歳)をスタートコホートとする。

②調査項目

- a. 身体計測（身長、体重〔肥満度算出〕、
血圧）
- b. アンケート調査票による調査（生活習慣・
家族歴・食品摂取状況）〔研究班共通〕
- c. 血液検査（T-chol, HDL-chol, 中性脂肪、
GPT）
- d. 尿糖検査

③調査方法

- a. は3歳児検診、園、学校の検診時に行なう
（3歳児の血圧測定は行なわない）。
- b. は学校の協力の下、アンケート調査票を各
児童生徒に配布する。3歳児には、3歳児検診時
、園の検診時に配布する。プライバシー保護のため
に、調査票は封筒とともに配布し、密閉して回
収した。
- c, d. は学校の検診時に実施する。

④追跡方法

3歳児検診時には、c, d を除く全項目を実施。

小学校入学以降中学3年まで、a, c, d は毎年実施。

b は小学校1、4、6年時および中学3年時に実施。

しかし、本年度既にアンケート調査を実施した小学生629名（小学1～6年生）に関しても、今後本研究のプロトコルが適応されるので、各学年により将来の追跡期間は異なるが、広義の調査対象コーホートとして含める。

〔進達状況〕

本年度の調査研究の進達状況について述べる。

教育委員会、学校関係者への協力要請：

芝山町教育委員会、各学校関係者（校長、養護教員）に本研究の趣旨を理解して頂き、アンケート調査および血液検査等実施の許可を得た。また本研究を継続してゆくことの台意を得た。

具体的には、アンケート調査票は教育長名で各学校児童に配布する（父兄への協力依頼文をそえる）ことにし、実際の調査票の配布・回収はクラス毎に担任に依頼することとなった。

検査料金の予算化：

血液検査等の費用に関しては、町議会にはかり町の予算より計上（一児童当たり3000円）して貰うこととなった。

尚、本調査研究を実施する条件として、調査結果を各個人に通知すること、および調査結果を通じて児童・生徒、保護者、教師を対象に健康教育活動を行なうことを求められた。

調査結果の通知として、個人別に①検査成績、②総合判定と管理区分、③指導事項とを一定様式で書面に打ち出したものを保護者に通知（個別介入）する予定である。

講演会などを利用して成人病予防に関する知識の普及をはかる（集団介入）予定である。

本年度の実施事項：

平成4年1月に、町内3小学校にプレ調査としてアンケート調査票を配布し、2月に回収した。

1年118名、2年96名、3年104名、4年109名、5年99名、6年103名の計629名の回収を得た（率99.6%）。学校関係者、父兄の協力は十分得

られた。結果は現在解析中であるが、これらの児童も、今後調査研究プロトコルが適応されるので、次年度より新たに開始される3歳児、6歳児（小学1年）コーホート調査と並行して追跡する予定である。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:小児期における成人病の危険因子と成人病発生との関係を研究する目的で、本年度は芝山町におけるコーホート調査のシステムづくりを行なった。実施に際して、地区教育委員会の承諾をまず得て、学校関係者とくに養護教諭の協力をとりつけた。本調査は、3歳児および小学1年生を開始コーホートとして、9年間以上の追跡を目標とする。次年度より計画に基づく調査が開始されるが、プレ調査として町内3小学校の小学生に対して、生活習慣、家族歴、食品摂取状況に関するアンケート調査も実施し629名(回収率99%)の回答を得た。これらの児童も今後、調査計画に基づき追跡する。